

宗祖法然上人八百年大遠忌の今年、百年後を見据え、その先の極楽浄土（スクワーバテイ）を描く

スクワーバ見樹院のめざす未来

——人と地球の健康

■日本の森林を再生する

日本の森林資源を正しく利用し、エネルギーや食糧など生活資材の自給率を上げることが、林業を再生させます。安全で質の高い木材を利用するモデルとして、自然環境保護に貢献します。

■持続可能な社会を示す

都会で自給自足は難しくとも、山とつながり、自分たちの命を支える循環を意識し、大消費地に暮らしながらそのつながりを支える責任を果たしていきます。

■足元から未来を築く

主体的に社会の担い手になることで、経済のグローバル化に飲み込まれることなく、奪い合いから支えあいへと世界の仕組みを転換し、平和で豊かな未来を自分たちの手の内に築きあげます。

スクワーバ見樹院の特徴

——健康と長寿命

■九九%安全な素材

木材はすべて国産の無垢材を使用。低温で薫煙乾燥された木材は、防腐剤や防カビ剤を必要とせず、合板や集成材のような接着剤も使用しません。国内基準に合わせた「悪いものは使わない」ではなく、

壁紙や塗装も含め、徹底的に安全なものだけを、なければ独自に開発して積み上げていきます。

■長寿命がもたらす豊かな未来

コンクリートは水分を少なく結晶化させることで数百年の耐用となります。木材も低温薫煙乾燥で古民家同様しなやかで丈夫。また、コンクリートの外側を断熱する外断熱が、さらに健康と長寿命、そしてエコロジーをもたらします。イニシャルコストを少ないランニングコストと長寿命でカバーし、

消費財化した住宅を欧米並みの社会資本にしていきます。

■百年の定期借地権とコーポラティブ

業者が建てて売るのではなく、この趣旨を理解し、共にコミュニティを築いていこうという人々が集まって建てています。三三〇年以上の歴史を持つ見樹院が、今後三百年以上をめざして、百年を共に築くビジョンを共有する新たなパートナーとの縁を深めていきたいと思えます。

施設のご案内とお願い

■複合施設

スクワーバ見樹院は、東棟と西棟の2棟からなっており、東棟は鉄筋コンクリート5階建て、西棟は1階部分が鉄筋コンクリート造で、その上に木造メゾネットの住宅（2戸）が乗る3階建て。ここに見樹院と、集合住宅「小石川フオレスト」が入っている複合施設です。

■施設の概要

【玄関】見樹院の表玄関は、東側墓地寄りになります。ご来院の際は、扉右側のインターフォンでお知らせ下さい。

【ロビー】お待ち合わせなどにご利用ください。

【小会議室】少人数の会合や打ち合わせに使えます。

【本堂】本堂は以前同様2階になります。土足のままお上がり下さい。

【控室】お着替えなどをしていただくことができます。

【集会室】大人数のお待ち合わせや、ご法事後席などにご利用いただけます。本堂・ロビーからは、一旦玄関から出て、外階段脇の入口よりお入り下さい。

【ギャラリー（本堂2階席）】見樹院ゾーンから一旦出て、共用部分である3階エレベータホールから入ります。

【法務室・研修室】僧侶が法要の準備や調べ物をしたりする部屋です。法衣やお経本などの保管場所でもあります。

【客殿】8畳と6畳の和室です。

【エレベーター】エレベーターは、共同住宅との共用になります。見樹院建物内からは入れませんが、住宅としてはオートロック・セキュリティの内側になります。

【お手洗い】ロビー北側と集会室に男女別であります。また、2階本堂ロビー北側、3階ギャラリ入口の向かいにもあります。

■館内禁煙

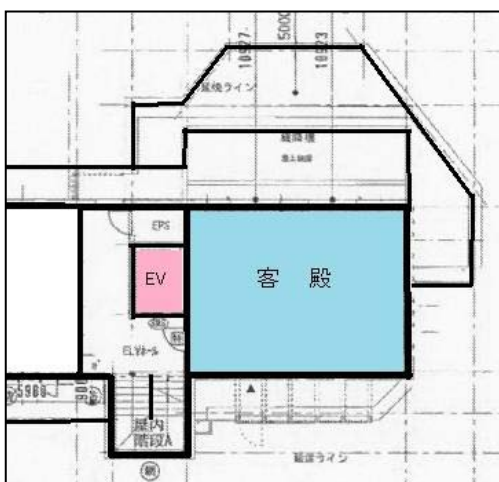
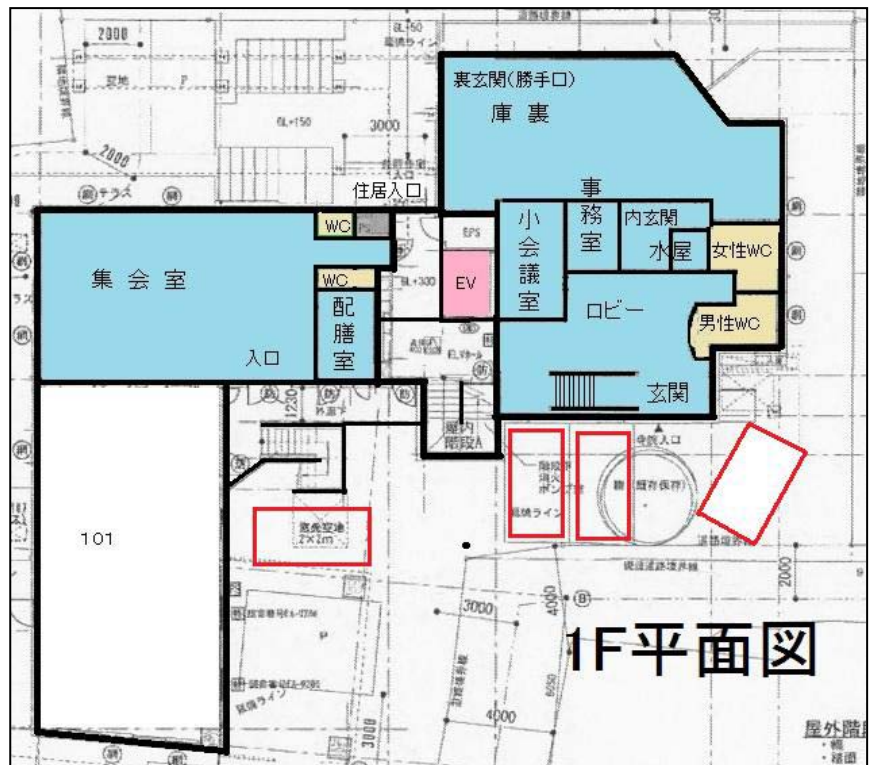
化学物質をはじめとする過敏症等の方々に配慮した施設です。建物内は全面的に禁煙とさせていただきます。喫煙は、建物外の所定の場所をお願いいたします。

■居住区域への立入禁止

エレベーターホール及び階段は、集合住宅（マンション）との共用スペースです。居住者の了解がない限り、住居区域への立ち入りはご遠慮ください。

■駐車スペース

右下の赤い枠が見樹院檀信徒・訪問者用の駐車位置です。とめた場合は受付・事務所にお声かけ下さい。



スクワール見樹院プロジェクトメンバー

- 事業主体 スクワール見樹院（東棟・西棟）建設組合
- 共同企画 社団法人天然住宅／天然住宅バンク
- 設計監理 株式会社アンビエックス
- コーディネイト NPO法人都市住宅とまちづくり研究会
- 施工 株式会社丸二
- ステンドグラス 勘田ゆかり（ステンドグラス翠檜）
- 手漉き紙作品 丸山瑞木、すずきあき（シムーン）
- 仏具修繕調製 三佛堂桜井商店
- 造園・境内整備 柳井造園
- 墓地整備 酒井石材株式会社



2F本堂ロビーのステンドグラス。見樹院に伝わる開基見樹院殿（天給成重直筆の掛け軸に描かれた卵の花をモチーフにしています）。

開かれた寺院、発信する寺院へ

見樹会について

見樹会の今後、併せて見樹院全体の運営につきまして、なかなか詳細が決まらず、現在、見樹会費の納入は休止しております。方向性としては、檀信徒の皆さんが「安心して未来を託すことのできる寺」を第一義に、会費やお布施、護持費など、それが墓地管理、寺院運営、先祖供養のお布施、活動支援、等々、その内容や意味がわかるような形にすることで、今後

落慶式は五月七日

一月二十三日に檀信徒の皆さまへのお披露目を兼ねて「入仏式」を行いました。寺として正式の対外的な儀式でもある「落慶式」を五月七日(土)の午後に厳修いたします。

近隣部内寺院及び関係寺院、工事関係者と共に、工事の無事円成を祝し、法灯がますます輝くことを祈念する儀式です。追って詳細をご案内させていただきます。

発信する寺院へ

は檀家だけでなく、幅広い人々に様々なかたちで支えてもらえるような仕組みにしたいと話し合っています。

六月の施餓鬼会の折に、具体的なご提案をさせていただきたいと思えます。

ジュリー・ラダック

私が住職を兼務している江戸川区の寿光院は、寺のスペースを、環境、人権、福祉：等、様々な団体に提供しています。事務所や会議・作業、あるいは高齢者の住宅、子どもの居場所、シエルターなどとして、それぞれ時代の抱える問題の最先端で、地道にしかし創造的に活動を行っています。

このような市民を主体とした活動は、いわゆる「新しい公共」の担い手であると共に、「苦」に向き合って「道」を示したお釈迦さまや、人々が自ら願ひ唱えるお念仏をすすめた法然上人の教えにも通じます。

この度、私が理事をつとめるNPO法人「ジュリー・ラダック」

の事務所を、江戸川から見樹院内に移しました。ラダックはインド北西部、ジャナムー・カシミール州のヒマラヤ山中。篤い仏教信仰を持ち、自然と調和しながら支え合いの文化を生きる人々とながり、これからの社会のあり方を考える活動を展開しています。

同NPO代表のスカルマ・ギユルメットさんをはじめスタッフ、ボランティアの皆さんが出入することになりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

懐かしい未来

そしてこれからの社会のあるべきモデルとしてラダックを世界に紹介したのが、スウェーデン出身



ヘレナさん、ジョンさんと見樹院玄関ホールで

の言語学者、ヘレナ・ノーバーク・ホッジさんです。著書『ラダック懐かしい未来』は、四〇か国語に翻訳され、一九八六年には、もう一つのノーベル賞と言われるライト・ライブリフッド賞を受賞されました。

そのヘレナさんが、新作映画『幸せの経済学』の紹介のために先月パートナーのジョン・ページさんと来日され、その間、見樹院に滞在されました。6年前は江戸川の高齢者グループハウスに泊まっていたいただきましたが、2年前、全日本本教会の招きで来日されたとき、天然住宅による計画を話し、ぜひこの次は見樹院にと楽しみにしてくれていました。新築最初のゲストがヘレナさんだったことは、たいへん光栄であると共に、未来のありかたを発信する寺として身の引き締まる思いです。

TPPなど世界経済に翻弄される競争の果ていのちや文化が脅かされる構造ではなく、小さな生かしの輪を広げていく生き方を、未来を信じて活動する人々と共に発信して行きたいと思えます。